

緑地を楽しむ本

『しぜんのかたち せかいのかたち』

建築家フランク・ロイド・ライトのお話

K.L.ゴーイング 文、ローレン・ストリンガー 絵、千葉茂樹 訳

BL出版



アメリカ人のフランク・ロイド・ライト（1867－1959）という人は近代建築の三大巨匠の一人とされています。日本の帝国ホテルや自由学園などの設計もしました。

です。大人になってからも自然からの影響を持ち続け、自然から切り離すのではなく、自然に溶け込むような建築物をたくさん作りました。

西緑地で遊んだ子どもたちは西緑地のことを心のどこかに覚えていて、人生の肥やしにするのかもしれないと思いました。

（齋藤好子）

彼のお母さんは彼が赤ちゃんの時から、大きくなったら建築家にしたいと思っていました。彼が子どものころに遊んだ積み木や、おじさんの農場の手伝いの傍ら眺めた雄大な景色や花の形、クモの巣、ハチの巣などから建築の形の元を吸収したそう